

## 子どもたちに読み聞かせたい絵本アンケート

### (調査結果報告)

実施期間	平成19年9月～10月の2か月間
調査対象	私立幼稚園教諭
調査地域	岩手県、群馬県、埼玉県、新潟県、東京都、静岡県、富山県、滋賀県、佐賀県の9都県
回答人数	577人 年少クラス担当教諭：201人 年中クラス担当教諭：169人 年長クラス担当教諭：179人 その他：28人
調査方法	全国から調査地域を抽出し、調査用紙を配布。調査は記名式で行なわれ、設問①②記入式、③記述式で回答後に調査用紙を回収。
調査内容	幼稚園教諭が普段の保育で絵本の読み聞かせをする際、①教師の立場として子どもに読んであげたい絵本、②実際に子どもに読み聞かせると子どもが喜ぶ絵本、③家庭での絵本選び——について、調査した。

.....

#### 《調査結果》

- ①教師の立場として子どもに読んであげたい絵本——29  
年少、年中、年長の各上位20
- ②実際に子どもに読み聞かせると子どもが喜ぶ絵本——69  
年少、年中、年長の各上位20
- ③家庭での絵本選びについて——109  
年少、年中、年長を担当する教師の記述回答

①教師の立場として子どもに読んであげたい絵本

調査対象	選ばれた絵本数 (重複を含む)
年少クラス担当教諭 201人	942冊
年中クラス担当教諭 169人	853冊
年長クラス担当教諭 179人	858冊
調査方法:「教師の立場として子どもに読んであげたい絵本」を1人5冊以内で回答いただいたものを機械的に多い順に整理し並べ替えた。	

## 年少クラス

順位	タイトル	出版社
1	ぐりとぐら シリーズ	福音館書店
2	はらぺこあおむし	偕成社
3	ぐるんぱのようちえん	福音館書店
4	おおきなかぶ	福音館書店
5	三びきのやぎのがらがらどん	福音館書店
6	はじめてのおつかい	福音館書店
7	おおきくなるっていうことは	童心社
8	そらまめくんシリーズ	福音館書店
9	スイミー	好学社
10	てぶくろ	福音館書店
11	エルマーのぼうけんシリーズ	福音館書店
"	ともだちや シリーズ	偕成社
"	宮西達也テラノサウルスシリーズ	ポプラ社
14	おいしいれのぼうけん	童心社
"	くれよんのくろくん	童心社
"	どうぞのいす	ひさかたチャイルド
"	もったいないばあさん シリーズ	講談社
18	ばばばあちゃん シリーズ	福音館書店
19	こんとあき	福音館書店
"	わたしのワンピース	こぐま社

## 年中クラス

順位	タイトル	出版社
1	ぐりとぐら シリーズ	福音館書店
2	はらぺこあおむし	偕成社
3	ぐるんぱのようちえん	福音館書店
"	はじめてのおつかい	福音館書店
5	てぶくろ	福音館書店
"	ともだちや シリーズ	偕成社
7	三びきのやぎのがらがらどん	福音館書店
8	宮西達也テラノサウルスシリーズ	ポプラ社
9	おおきなかぶ	福音館書店
"	もったいないばあさん シリーズ	講談社
"	どうぞのいす	ひさかたチャイルド
12	おいしいれのぼうけん	童心社
"	かいじゅうたちのいるところ	富山房
"	からすのパンやさん	偕成社
"	ともだちほしいな おおかみくん	岩崎書店
"	ないた あかおに	偕成社
"	にじいろのさかな	講談社
18	14ひき シリーズ	童心社
"	スイミー	好学社
"	くれよんのくろくん	童心社
"	ばばばあちゃん シリーズ	福音館書店

## 年長クラス

順位	タイトル	出版社
1	スイミー	好学社
2	ともだちやシリーズ	偕成社
3	ぐりとぐらシリーズ	福音館書店
4	おいしいれのぼうけん	童心社
5	はらぺこあおむし	偕成社
"	にじいろのさかなシリーズ	講談社
7	エルマーのぼうけん シリーズ	福音館書店
8	はじめてのおつかい	福音館書店
9	宮西達也テラノサウルスシリーズ	ポプラ社
10	ぐるんぱのようちえん	福音館書店
"	100万回生きたねこ	講談社
12	花さき山	岩崎書店
"	すてきな三にんぐみ	偕成社
14	三びきのやぎのがらがらどん	福音館書店
15	あらしのよるに	講談社
"	そらいろのたね	福音館書店
17	しろいうさぎとくろいうさぎ	福音館書店
"	14ひきのねずみ シリーズ	童心社
19	くれよんのくろくん	童心社
"	そらまめくんシリーズ	福音館書店
"	どうぞのいす	ひさかたチャイルド
"	ばばあちゃん シリーズ	福音館書店

## ②実際に子どもに読み聞かせると子どもが喜ぶ絵本

調査対象	選ばれた絵本数 (重複を含む)
年少クラス担当教諭 201人	1,006冊
年中クラス担当教諭 169人	869冊
年長クラス担当教諭 179人	873冊

調査方法:「実際に子どもに読み聞かせると子どもが喜ぶ絵本」を1人5冊以内で回答いただいたものを機械的に多い順に整理し並べ替えた。

## 年少クラス

順位	タイトル	出版社
1	はらぺこあおむし	偕成社
2	ぐりとぐらシリーズ	福音館書店
3	おおきなかぶ	福音館書店
4	三びきのやぎのがらがらどん	福音館書店
5	ノタン シリーズ	偕成社
6	アンパンマンシリーズ	フレーベル館
7	わたしのママ?	ほるぷ出版
8	そらまめくんシリーズ	福音館書店
9	ぐるんぱのようちえん	福音館書店
10	ぞうくんのさんぽ	こどものとも
11	へんしんシリーズ	金の星社
"	もけら もけら	福音館書店
13	くれよんのくろくん	童心社
"	さつまのおいも	童心社
15	とん とん とん	金の星社
"	ねずみくん シリーズ	ポプラ社
17	999ひきのきょうだい	ひさかたチャイルド
"	きよだいなきよだいな	福音館書店
"	11びきのねこ シリーズ	こぐま社
"	たまごにいちゃん シリーズ	すずき出版
"	はじめてのおつかい	福音館書店
"	もこもこもこ	文研出版

## 年中クラス

順位	タイトル	出版社
1	ぐりとぐら シリーズ	福音館書店
2	はらぺこあおむし	偕成社
3	三びきのやぎのがらがらどん	福音館書店
4	バムとケロ シリーズ	文溪社
5	へんしんトンネル シリーズ	金の星社
6	ぐるんぱのようちえん	福音館書店
7	11びきのねこ シリーズ	こぐま社
8	からすのパンやさん	偕成社
9	おおきなかぶ	福音館書店
"	さつまのおいも	童心社
"	ねずみくんシリーズ	ポプラ社
12	おおきなおおきなおいも	福音館書店
"	もったいないばあさん	ポプラ社
14	そらまめくんシリーズ	福音館書店
"	はじめてのおつかい	福音館書店
16	ばばばあちゃん シリーズ	福音館書店
17	きょだいなきょだいな	福音館書店
18	キャベツくん シリーズ	文研出版
"	たまごにいちゃん シリーズ	すずき出版
20	アンパンマンシリーズ	フレーベル館
"	おばけのてんぷら	ポプラ社
"	14ひき シリーズ	童心社
"	ノントンシリーズ	偕成社

## 年長クラス

順位	タイトル	出版社
1	ぐりとぐら シリーズ	福音館書店
"	おいしいのぼうけん	童心社
3	宮西達也テラノサウルスシリーズ	ポプラ社
"	ともだちやシリーズ	偕成社
5	へんしん シリーズ	金の星社
6	じごくのそうべいシリーズ	童心社
"	11ぴきのねこ シリーズ	こぐま社
8	おおきなおおきなおいも	福音館書店
"	からすのパンやさん	偕成社
"	にじいろのさかな シリーズ	講談社
"	ばばばあちゃん シリーズ	福音館書店
12	エルマーのぼうけん シリーズ	福音館書店
13	はらぺこあおむし	偕成社
"	わんぱくだん シリーズ	ひさかたチャイルド
15	きよだいな きよだいな	福音館書店
16	14ひきのねずみ シリーズ	童心社
"	どろぼうがっこう	偕成社
"	ねずみくんのチョッキ シリーズ	ポプラ社
"	めっきらもっきらどおんどん	福音館書店
20	おおきなかぶ	福音館書店
"	せんたく かあちゃん	福音館書店
"	ぐるんぱのようちえん	福音館書店
"	三びきのやぎのがらがらどん	福音館書店

### ③家庭での絵本選びについて

調査対象	回答数
年少クラス担当教諭	73人
年中クラス担当教諭	69人
年長クラス担当教諭	76人
その他	16人
内容：家庭での絵本選びについての記述式回答をそのままご紹介しています。	

## 家庭での絵本選びについて

---

### 年少クラス

---

年少児はまだ文字が読めない子が多いので、絵を見ながら子どものイメージが広がり、発見ができるものが楽しいと思います。

---

表面的なストーリーの面白さの中に心あたたまるとような絵本を選ぶといいと思います。子どもたちの想像が膨らんでいくような絵本を通して子どもたちと交わることで親子の絆が深まると思います。今回は年少でしたので書きませんでした。年長児などには日本の昔話なども読み聞かせてあげると友達とどう関わるか人生の学びができると思います。

---

子どもの年齢にあったものを選んであげる。子どもが興味を持てるような絵、また、想像力が育てられるようなもの。親子でじっくりかかわりがもてるよう、子どもをひざに抱っこして読める大きさの本。

---

話が簡単でわかりやすいものもいいと思います。（特に年少）子どもはもちろん読み手と一緒に楽しめるものもいいと思います。

---

ただ読み聞かせるだけではなく、一緒に考えたり、言葉に出したりすることができる絵本だと親子の絆がより一層深まると思います。命の大切さをお子さんと一緒に感じてほしいので、死を題材とした絵本を読み聞かせることも大切だと思います。

---

---

キャラクターものの絵本に子どもたちは興味があるようですが、色がきれいで話の展開が分かりやすいものを選んであげたいです。絵を見ただけで話が読めるものが子どもたちも親しみやすいようです。

---

絵本を開いたときに場面が分かりやすく、丁寧に細かく描いてあるもの。内容が豊かなもの。最後は、ハッピーエンドになるもの。また読み終わった後余韻が残るもの。絵の線に安定感があり色彩が美しいもの。よい絵本は子どもが何度もリクエストしてきます。何度見ても飽きがこない絵です。

---

絵がアニメのようなものよりは、いろいろな表現で描かれているものの方が絵本として楽しめると思います。繰り返しの言葉のあるものは読み聞かせの楽しさがより伝わります。

---

色づかい、言葉づかいのよいものを選んでいきます。読み手が読んでいて楽しいもの、心に訴えるものを選ぶと、その気持ちをこめて読み聞かせてあげられると考えています。

---

幼稚園で保育者が選ぶのと家庭で選ぶのでは少し違う部分もあるかも知れませんが、共通する部分もあると思います。子どもにとって大好きな親御さんに1対1で読んでもらうことはとても大切であり、大きな喜びと安心につながると思います。

お子さんが読んでほしいという絵本や親御さんの大好きな絵本、昔話などさまざまな角度から選んでいくと幅も広がり、たくさんの物語にふれあい、出会えると思います。また、お子さんの成長に合わせた内容や長さ、季節にも目を向けて選んでいくといいのではないのでしょうか。色彩や文章、内容など、一度手に取り読んでみるといいかもしれません。絵本があまり教育的な意図を多く含まず、物語の世界を楽しみ、絵本とのふれあいをたのしみ、読んでもらう喜びを感じられるようにしてあげたいといつも思っています。あまり“こうだからこの絵本”と型にはまらず、お子さんと一緒に絵本に絵本をみて触れて“これがいいな”と感じる出会いを大切に選んでいくといいのでは。

---

---

絵本を選ぶのに大切なのは「子ども」ではなく「買う人」自身が気に入った好きな絵本を選ぶことだと思います。もちろん、子どもの年齢にあわせて選んでいくことも大切ですが、まずは、選ぶ人自身が“この絵本を読んであげたい！”“この絵本を読んだら楽しんでもくれるかな”と思う。そのような絵本にめぐりあうことです。

---

簡潔な本からはじめ、興味を持ち出したら少しずつ長い本を選んでいくのもいいかなと思います。

---

子どもの希望した本や、絵本を通して日常生活や基本的な生活習慣を楽しく覚えられたらいいと思います。絵本を通して子どもたちなりに考え、想像のしやすいもの。

---

絵本は、子どもに喜びと楽しみを味合わせるもので子どもに苦痛を与えるものではないと考えます。そこで、子どもの好きな絵本を繰り返し繰り返しお母さんやお父さんが読んであげること、親子三代読んでいる絵本がいいといわれています。お母さんが小さいころに読んでもらった絵本がいいかと思います。また、どんな絵本を読んであげようかときどき親子で図書館に行くのもいいかと思います。絵本のワクワク、ドキドキを知ってほしい。

---

お父様、お母様が幼少のときに大好きだった絵本、また、昔からある絵本を読んでいただきたいなと思っております。

図書館では季節の絵本や昔から読み継がれている絵本がピックアップされていると思うので、まずは図書館でたくさんの絵本に出会うことをおすすめしたいです。

---

何かを伝えられるような絵本を選びたいです。年齢や個性に合った絵本を読んであげたいです。

---

---

年少さんは、文が長いものより絵が大きくはっきりしているものや、しかけのあるものの方が好むようです。繰り返しのある絵本が好きです。似たような絵本にかたよらず、いろいろな絵やストーリーのものに触れ合えるといいのかもしれません。お母さんやお父さんが楽しい、おもしろい思える本をぜひ読んでみてください。

---

実写もの、子どもも参加して読めるもの、子どもの興味のある内容のもの（虫や乗り物など）絵本を通して日常生活を見直すことができるもの（友達関係、物を大事にすることなど）しかけがついているもの。これらをバランスよく選んで私は子どもたちに読み聞かせるように心がけています。

---

子どもたちは擬音語のあるリズム感のよい絵本や小さいものが大きくなったり変化がある絵本、しかけ絵本を読んであげると喜びます。また繰り返しのある絵本も読み進めていく中でだんだん物語の世界に入りこんでいきます。ストーリー性のあるもの（内容）見た目が楽しいもの（しかけ絵本、色など）聞いて楽しいもの（音）などいろいろな絵本に触れ、豊かな心を育てていきたいですね。

---

幼稚園では、季節に合った絵本を読むことが選ぶ基準となっています。日常的な絵本では、年少さんなので分かりやすいものやしかけ絵本などの楽しめるものが良いかなと思っています。個人的には、心が温かくなるお話を選ぶポイントとしています。

---

図書館を大いに利用していただき、子どもが大好きになった絵本があったら購入してみるのも良いと思います。おとなが「この絵はあまり好きではないわ」と思った絵本でも子どもがすごく気に入ったりすることもよくあります。おとなの好みではなく子どもが目にした手にとったりできる機会を多くすると良いと思います。

---

親子のスキンシップの場として、ひざに乗せてあげたり、添い寝をしたりしながら、絵本をたくさん読んであげてほしいと思います。同じ絵本でもいろいろな出版社が出ています。そのため、お話の内容もそれぞれ違ったりするので、ぜひ選んで読んであげてほしいと思います。また、ディズニーの話などは原作と違ったりします。残酷な話を避けるのではなく、子どもに感じさせてあげることも大切なこと知ってほしいです。

---

---

お家の人もたくさん絵本を読んでみて、自分のお気に入りを見つけ、子どもと一緒に楽しんでほしいです。忙しいと思いますが、ゆったり読み聞かせする時間を作ってほしいです。

---

今は身近なところに本屋や図書館があるので家庭で絵本を購入する機会が多くなっており、とても良い傾向にあるのですが、子どもの成長やその子自身の興味のある絵本よりも、親の独断や趣味で内容を選んで偏ることがあるので、いろいろな絵本の特色をPTAしんぶんや公共の場で知らせたほうがよりお子さんのために良いと思います。（子どもが言った感想を載せるとよりリアルでよいのでは・・・）

---

いろいろな種類の絵本（絵、ストーリーなど）をたくさん読んであげると子どもの中でもイメージが広がったり、1冊1冊が印象に残るものになるのではないかと思います。

---

どんな絵本でも、お家の方がお子さんに寄り添って読み聞かせればと思います。

---

ひとりで楽しむ絵本、親子で楽しむ絵本があると思います。いろいろな絵本を楽しんでみてほしいと思います。

---

冒険、ファンタジー、ユーモア、科学とさまざまなジャンルのものがあるので書店に一緒に行って子どもに選ぶのも良いと思います。また、親が読ませたいと思う絵本ではないものを選んだとしても、自分のお気に入りのものに熱中することが徐々に興味の幅を広げていくきっかけとなります。どんな絵本でも、“読ませる”ではなく“読んであげること”が大切です。子どもが興味を持ちそうなもの、親子で一緒に楽しめるものから取り上げ、“絵本は面白い”“また見たい”と思う気持ちにつなげていけるとよいのでは。

---

---

14ひきシリーズ等、絵が細かいものは一斉でなかなか楽しさを共有するのが難しいので、ぜひご家庭で読んでいただきたいです。

---

家庭でも良書といわれるものをできるだけ選んでいただけたらよいと思います。（雑誌のようなものやキャラクターものを選ばれる方も多いので）

---

子どもの年齢を考えながら選択することも必要だと思うが、読み手自身がその絵本に対して興味を持てるものを選んで読み聞かせてあげるのが良いと思う。たくさんの絵本に触れ好きなものを好きな時間に、そして温もりを感じながら読めるようにしてもらいたい。

---

ねらいが含まれている絵本お母さんが自身が選んで、心うたれる絵本（流行の絵本だけ選ぶのではない）色彩感覚を養えるような絵本（色づかいがきれいで温かみのある絵）アニメのような絵ばかりでなく、実物に近い絵を用いている絵本

---

いろいろな種類の絵本を乳児期よりたくさん読み聞かせてあげることが大切だと思います。その中で子どもが興味を示した絵本を繰り返し読んであげてもいいと思います。

---

年少では、文字数やページ数、本の大きさ、色なども明るいものを選んだりというように、留意していただけたらと思います。

---

---

3歳児は言葉を覚える時期なので、正しい言葉づかいの絵本が良い。話の内容が繰り返しで構成されていることで、内容が理解しやすいし、子どもも覚えやすいと思う。

---

昔ばなしをしっかりと伝えたいと思います。

---

良い絵本といのは、よく分かりませんが、子どもたちが何度も読んでも欲しがる絵本にたくさん出会えるといいなと思います。

---

色彩のきれいな絵本、動物が出てくる絵本、子どもと会話が楽しめるような絵本

---

まず、本屋さんに行った時など絵が鮮やかなものであったり、年長になると字が読めるので、読み易い大きな字であったりすると自然と自分で本を選べるようになってきます。ぐりとぐらやせんたくかあちゃんなどの同じシリーズのもので“見たことある”などと絵で判断するようになってきます。日頃から絵本に親しみをもてる環境をつくったり、保護者が読み聞かせてあげることで年齢とともに読める字も増えてますます興味をもてるでしょう。

---

書店で絵本を求める際、絵柄のあたたかさ、色合いなど“ホッ”とするものを勧めます。また、内容が単純なものから、年令に合ったものへいと進んでいくと良いと思います。読み手のお母さんも感動できるなつかしさがこみあげてくるものもいいですね。

---

---

絵がきれいだったり、お話に夢があり子どもの空想が広がるものが良いと思います。絵本選びにぜひ図書館を利用し、いろいろな分野の本に目を向けてくれるとうれしいです。

---

お話の流れが分かるようになる3歳児にはおとなが読んでもおもしろいと感じたり、心温まるものが伝わると思います。3歳児はその内容が単純であればあるほど心に届きやすいのではと感じます。

---

とにかく絵本を読む時間をたくさんとり、なるべくたくさんのお本に出会える機会をつくってあげてほしい。

---

子どもが興味のある本を読んであげたいです。(子どもと一緒に選ぶなど)

---

満3歳位まではことばの繰り返しがあったり、登場人物がわかりやすく、また少ない絵本を選んでいる。書店の児童書コーナーで新刊や人気の絵本をチェックしたり、図書館に行き季節ものの本もチェックしたりする。

---

色彩がきれいなもの。年齢に合ったもの。繰り返しが楽しいもの。昔から読まれている名作をたくさん与えてほしいと思います。私も小さい頃、たくさん絵本を買ってもらい今でも好きな話がたくさん心に残っていますし、実際にそれを子どもたちに読み聞かせています。

---

---

私が子どもに読んであげたいと思う絵本の中でも、その年齢に合ったものを選んでいきます。（3歳には3歳のもの、5歳になってから読んであげたいもの）それに、単純な内容でも、子どもの心に響く物が良いと思います。季節のもの、昔話も良いと思います。

---

アンパンマンやウルトラマンなどのキャラクターものではなく、昔話などお話をたくさん読んでほしいなと思います。

---

繰り返しのリズムが楽しい絵本や、一緒に（その役に）なりきって参加できる絵本を子どもたちは喜んで見ます。また日本の昔話や古くからあるイソップ童話なども伝承していきたいです。

---

刺激を感じることができる本を選びたいと思います。（特に視覚・聴覚に刺激を受けるもの）とにかく絵本は、子どもに身近に触れ合うことができるものだし、想像力・言葉の取得には大切なものだと思います。そんな意味も含め、家庭における絵本の読み聞かせをもっと大事にしてほしいと思います。

---

子どもが目で見ると楽しみ「自分もこんなことあったな」「あの時のと同じだ」「次はどうなるのだろう」と想像を含み、早く“次のページが見たい”という思いが出てくるものを考え選んでいます。

---

文章の繰り返しがあったり、親子でいろんなことを想像したり、参加できたりする絵本や次のページをドキドキ、ワクワクした気持ちでめくれるような絵本に出会えたらいいなと常に思っています。また、どの本にもたくさんの魅力があり、絵本をめくる楽しさはあると思うのでできるだけ多くの本を読んでみたいなと思っています。

---

---

絵本選びというより、どんな絵本でも子どもは大好きだと思います。大好きな絵本を“聞いて見る”楽しい時間を母と子で共有できたら、ますます絵本が大好きになり、たくさんのお話を聞いて触れることで感性が養われていくのだと思います。

おとなも子どもの頃に読んでもらったことを思い出しながら、わが子に読み聞かせてあげると子どもはもちろんですが、おとな自身も心が和み、幸せな気分になるような気がします。年少さんは単純で言葉がわかりやすく、繰り返しの多いものが多いものが大好きです。

---

絵を見て絵だけで話が伝わるものを選ぶようにしています。色がきれいなもの、たくさん色があるものを選ぶようにしています。話にリズム感があり、繰り返しのフレーズやインパクトのある面白い単語が出てくるものを選んでいきます。

---

季節のもの。繰り返しのあるお話。絵のすてきなもの。やさしさ、あたたかさのあるお話。まず、お母さんが読んでみていいな、ぜひ子どもに見せたい絵本だと感じたものを読んであげたらすてきななと思います。

---

分かりやすい内容でやさしい絵の絵本を選んでいきます。同じ絵本を読んで何度も読んで子どもが飽きないものもいいなあと思います。

---

ページを開いたときに絵や色がきれいな本を選んだり、読んだときに子どもはもちろん自分自身が楽しめる内容の絵本を選ぶように心がけています。

---

---

年少に向けての場合は、絵のほうを重視して子どもが楽しめるような本、年中・長には、自分たちでも楽しめる、言葉の絵本などを見て選んでいます。内容が次々と変わるような、お話の展開が面白いものにも興味があります。

---

子どもが「みたい！！」と思った本を読んであげるのが一番良いと思います。また、何度も見たいと思う本。選ぶときに自分自身も好きな絵本もいいのではないかなと思いました。絵本を選ぶときは、絵だけを見てもお話がわかったり、絵とお話がしっかり合っているものを選びたいです。リズム感とか擬音、繰り返しがあれば、子どもも絵本の世界に入りやすく、楽しく絵本が見れるのではないかと思います。

---

家庭では、お家の方と子どもが1対1で。絵本を通して関わることができるとっても素敵なものだと思います。お家の方が「いいな、この絵本を読んであげたい」と感じるものを与えてあげたらいいのではないかなと思う。漫画のキャラクターではなく、子どもたちは絵を見てストーリーを感じていくと思うので、絵だけを見ても話の流れがわかるようなものがあると思う。

---

おもしろいことばのフレーズや頭に残るフレーズが繰り返し出てくる絵本は子どもたちも大好きです。でも、やはり読み手が好きだな、良いなと思える絵本を読んであげることが大切だと思います。

---

絵本は言葉を交わし、心を通わせる大切なコミュニケーションです。どんな絵本を選ぶかは、まず読み手自身が楽しみながら子どもの頃読んだなつかしい絵本を読んであげたり、好きな絵本を探したりしながら、子どもと対等な仲間として、心から楽しんで欲しいと思います。そうすれば読んでもらった子どももきっと楽しい気持ちになり、絵本が大好きになると思います。それが保育者としての願いです。

---

子どもが繰り返し聞きたがる何度読んでもあきないお気に入りの一冊に出会えるといいですね。

---

---

満3歳の子どもたちは、繰り返しの中に変化のある話が好きです。内容は簡単でも、何度読んでも飽きない本が良いと思います。

---

お母さんのひざに座って体を密着させて読むスタイルが何歳であっても一番コミュニケーションが取れると考えられるので、それならば掛け合いができるような、“次は誰が出てくるかな～？”など対話をしながら読み聞かせできるような作品がいいなぁと思います。絵本は親と子をつなぐ一番の手段だと思います。

---

まずは子どもの成長の姿を親が理解し、そして今この子どもに何を伝え知らせたいかを考え絵本を選ぶことが大切だと思う。また子どもの気持ちになって何に興味関心があるのかを子どもとともに感じ絵本を選ぶことも大事であると思う。五感を刺激するようなものもいいと思う。

---

絵本では、その中から生活習慣を伝えられるものや感情が伝えられるものが多いので、たくさん読んであげて欲しいです。子どもたちが入りこみやすい絵から段々内容の多い本に変えていくといいかなと思います。季節も考えて選ぶといろいろなことに敏感になれるかと思います。

---

お父さん、お母さんが子どものころ読まれて印象に残っている本、楽しかった面白かった思い出がある本が一番良いと思います。子どものとも傑作集に選ばれている本は昔も今も大人気でお勧めです。

---

子ども自身が選んできた絵本はもちろんのこと、親もいろいろな種類の絵本を提供して、一緒に絵本を楽しむ時間をもつことが何より大切だと思います。またさまざまな種類や雰囲気（内容）の絵本と幼児期に出会うことで子どもの人間的な視野も少しずつ広がっていくと思います。

---

---

その日、保育の中での子どもたちの様子や、季節などから絵本を選んだり、時に子どもが選んだ絵本をお帰りに皆に読んでいます。自由遊びのときにも「これ読んで！」とたくさんの絵本を読んでいます。ご家庭でも、子どもたちの好きな本・お母さんの好きな本をたくさん読んであげてほしいなと思います。

---

3歳児だと文章があまり長くないもの、自分たちの生活に少しでも関連しているお話（例えばノンタンブランコのせて、みんなでうんち、歯みがき、クレヨンくん、ばばあちゃんのどろんこあそびなど）夢やユーモアのあるストーリー。簡単な冗談が組み込まれているもの。お友達がたくさんでてるお話。お父さんやお母さん、赤ちゃんが出てくるお話など、子どもたちが自分に置き換えたり、お話の世界にす〜っと入っていきそうな絵本を選んでいきます。

---

子どもの好きな本を選ばせ読み聞かせることで、絵本に親しませていく。おとなの選ぶ本も、子どもの成長や親の思いを伝えられる本であって欲しい。一緒に楽しめる絵、遊べる本、心に伝わるものがあったら、今まで伝わってきたロングセラーのものにはそれなりの伝える力、想いが話や絵にあると思われる。マンガ本のようなものは極力避けてもらうようにする。昔話など省略されていないもの。

---

マンガみたいな本ではなく、ロングセラーになったものを読んで欲しい。絵がきちんとした絵本を読んで欲しい。年齢に応じた本を選んで欲しい。

---

## 家庭での絵本選びについて

---

### 年中クラス

---

親子で楽しく読めたり、子ども自身でも字が読めるもの、また文章にリズム感があるものがいいと思います。

---

親子で絵本の世界を楽しんで絆が深まるといいなと思います。お話をプレゼントする感覚でお子さんの顔を思い浮かべながらワクワクしながら選べたら素敵だなと思います。読み終えた後も想像力が広がっていくような心に残るたくさんの楽しみ方がある絵本が選べたらいいです。でも、いろいろと考えすぎてしまうと選ぶのがおっくうになってしまうかもしれません。“負担にならずに楽しんで”が一番だと思います。

---

季節やイベントに適したもの。内容に興味があるもの。(おとなが読んでも感動したり、心動かされるもの)絵にやわらかみがあり、色彩が豊かなもの。子どもの年齢にあったもの。

---

絵本のストーリーに展開があるものを選ぶ。子どものイメージ力が育つような絵本を選ぶ(視覚の中からだけでなく文章の中からイメージできるようなもの。)

---

お子さんの成長、そのときの季節にあったもの、お子さんに読んで聞かせてあげたいと強い思いのある絵本を選んで読んであげてほしいなと思います。その気持ちを成長の一つととらえて、親として読んであげたい絵本とともにお子さんが選ぶ絵本もバランスよく取り入れて読んであげてほしいです。また、「幼稚園で読んでもらった」という絵本などもときおりお子さんと一緒にご覧になって、ともにその絵本の楽しさ、良さなどを共感しあっていただけたら幸いです。自分が紹介した絵本を大好きなお家の人が喜んでみていたら、とてもうれしく感じるので

---

---

子どもたちにわかりやすく、楽しんでもらったり、絵本を見て自分なりに考えたり、それぞれ何か感じてもらえたらと思い、身近な話題をテーマにした絵本を選んでいきます。また、季節に合った本、行事に向けての絵本を読むことで、さまざまなことに興味をもってくれているように思います。文章では、繰り返しがある絵本だと、子どもたちも分かりやすく、一緒に声を出して試している姿も多く見られます。一度だけではなく、何度も何度も繰り返し読む中で、その絵本の楽しさが、どんどん伝わっていくのではないかと感じています。

---

絵本の色使い。あまり文が長くないもの。絵から多くのことが想像できるものを選んでいきます。

---

子どもたちは、絵を見て読み取っていると思っています。絵にインパクトがあったり、おもしろかったりすると、子どもは喜びます。また、絵本の魅力は自分も主人公になりきって満足感や達成感を味わえること、子どもの年齢に応じた共感しやすいものを選ぶのも1つのポイントかと思います。

---

年齢にあった絵本を選ぶのも必要だと思うが、簡単に読めるような絵本（自分で読めたり、繰り返しの多いものなど）を選ぶのもいいかなと思う。

---

子どもと一緒に楽しめそうなもの。いろいろな想像ができるもの。子どもたちが発見できるような細かい絵が描いてあるもの良い。

---

その年齢に合ったものや、絵や字の量などを参考に選んでいます。また、本屋でのランキングなども参考にしています。子どもたちに伝えたいことや、楽しめる本があると、絵本を通して子どもとの関わりも増えるので、そういうことも考えながら選ぶようにしています。

---

---

絵本の絵を見ていろいろなイメージのできるものだと、お話を楽しむ以外でも、絵本を楽しめると思います。また、子どもたちに伝えたいことを、自分で読んだときに感じることでできるものを読み聞かせるようにしています。

---

お子さんと一緒に選んだり、お母様が読んであげたいと思う絵本を読んだり...とお母様ご自身が楽しみながら絵本選びをされると良いのではないかと感じております。

---

お子さんが読んでと選ぶものと、お母さんが読んであげたいと思うものは、違う場合が多いと思います。日ごとに、お子さんが選んだものを読んであげる日、お母さんが読んであげたいものを読んであげる日とすると良いですね。お子さんが例え字を読めるとしても、今の時期たくさんお母さんが読んであげてください。絵をみて楽しめる絵本、文章（物語）を楽しめるようになっている年中時期、お子さんの成長にあわせて絵本を選ぶといいですね。

---

昔から長い間読み継がれていて、今でも子どもたちに親しまれている絵本を図書館などで聞いたりして読んであげるといいと思います。お子さんたちが心から絵本の世界に入りこみ、楽しんでいる絵本を、何度でも読んであげると喜んで楽しめるのではないかなと思います。

---

いつでも子どもが絵本を見たり、読んだりできるよう、子どもが絵本に手をのばしやすい環境に本を置いてほしいと思います。

---

絵だけで選ぶのではなく、内容も（読んだ上で）選ぶ基準にすると良いと思う。自分が子どものときに好きだった本や昔から読み継がれている本も選択肢の一つになると思う。

---

---

子どもの年齢に合ったページ数のもの。色使いがきれいなもの。季節に合ったものを心がけています。

---

子どもに伝えたいメッセージが含まれている本、親子で“どうなるんだろうね”などと一緒に考えながら読める本、絵のきれいな本などを選んで子どもの心に残るようにしてあげる。

---

子どもたちにやさしさを伝えるための本を読んでいきたいと思っています。絵本を読むことで落ち着いたりできると思うので、ゆっくり時間を取りたいと思います。

---

1日1回読み聞かせの時間をつくり、さまざまな絵本を読んであげ、子どもの好きな絵本ができれば、繰り返し読むのも良いと思います。(大好きな絵本をつくってあげる)

---

一つのお話でも、出版社や作者、絵などいろいろな種類があるので、絵本を選ぶときに悩んでほしい。あまり、脚色しすぎていないものが良い。絵本の内容も、物語に限らず図鑑的なものや身近な動物、車、食物などが親しめ、知識となるものも良いかもしれない。ひざの上、布団の中で親子で読むもの、幼稚園でお友達に読むもの、同じ絵本でも感じ方が違うと思う。場に合わせて選んでみるのも、親子で一緒に選んでみるといいと思う。

---

やはりおとなも子どもも同じ目線で素直にありのままの気持ちで読み、選ぶことが大切のように思います。子どもの年齢に合ったもので、そしてその子の年齢でよくわかり、おもしろいものはもちろん、そのお話の世界を伝えるのにふさわしい絵や言葉などにも注目してほしいです。子どもたちにとって身近なことから少しずつ世界が広がるようなお話が特に興味を持てるのではないかと思います。

---

---

自分が好きで読んで聞かせたいなと思う本を選んでいくといいと思います。

---

読む人のその日のコンディション（体調・テンション）にあわせて雰囲気合うものを読むと、絵本の世界が伝わりやすいと感じます。

---

子どもたちは、繰り返し繰り返し同じパターンで進む物語が大好き、そのような内容の物語を読むと子どもたちが楽しんでくれます。あとは、絵本の絵だけで物語の内容がわかる絵本や色彩が明るい絵本を中心に選んでいます。

---

子ども一人で見るとは本だけでなく、親子で楽しめ、読んで聞かせてあげられる絵本だと親子の時間も持てていいと思います。

---

その子どもの年齢や興味、伝えたいことに沿いわかりやすく親しみをもって読んでいけるもの。色彩やイラスト（入りこみやすい、こわくないなど）

---

アニメやキャラクター重視のものではなく、昔からのものや、ストーリーに重点をおいて選んでいただけたらと思います。

---

---

長年読みこまれているものの良さをわかってほしい。時代に流されずに良いものを守りたい。園からリスト出して啓蒙している。園よりたよりを出している。

---

小さい頃は、絵本の紙質などに配慮することも大切だと思います。（子どもがめくりやすく、やぶれにくい物）

---

絵本の種類については、お家の方が素直に読んであげたいと思われる物で良いのではないのでしょうか。絵本の種類よりも読んであげるときの子どもの距離が大切だと思います。ひざの上に座らせて読んであげるだけで子どもはうれしく、心に残りあたたかい時間を過ごせるのではないのでしょうか。

---

いろいろな情報がとびかっている中で、子どもたちの心に優しい気持ちになれるような物語や、楽しくワクワクするような物語、知りたい、見たいという好奇心をもてるような本を選ぶといいのではないかと思う。

---

年齢に関係なく、子どもが興味をもったものを読んであげ、本に親しむところから始めると、いろんな本に興味をもつようになっていくと思います。

---

親子で楽しめるもの。絵の描写がやさしく美しいもの。内容が子どもの育ちにあったもの。絵本の文が読みやすいもの。

---

---

絵本を通して大切にする友達の存在に気付き、思いやる気持ちを育てていきたい。言葉の繰り返しを楽しみながらいろいろな言語に触れさせたい。興味のあることを図鑑で調べたり、新たな発見ができるようにしたい。

---

年齢や子どもの興味に合わせて、話の内容や絵、文などを選ぶようにすれば良いと思う。幼児期には、文が短く、内容の分かりやすい絵本が良い。

---

子どもたちは、様々な絵本に出会う中で情緒が培われていくと思う。まずは、子どもに身近なストーリーを選択し親子で楽しんで読むことが良いのではないかと思う。

---

お母さんの好みで絵本を選びがちになってしまわないように、多種多様に絵本を選び、子どもに聞かせて、子どもが興味を抱いたり、「読んでー！」とせがまれた時は何度も繰り返し読んであげることが大切だと思う。また、年齢にとらわれず、少し長い内容のものでも聞き入ることがあるのでトライしてみてもどうかと思う。

---

言葉のリズムが良いものの方がいいと思います。繰り返しのあることばがあると言葉を覚えるのではないかと思います。

---

絵やタイトルだけで選んだら、内容が年齢に合っていないものもありますので、気をつけて選んであげた方がいいと思います。おとながおもしろいと感じるところと子どもがとても喜ぶところにズレもことがあります。

---

---

子どもは絵本が好きなのでどんな絵本でも一緒に読んであげることが大切だと思います。子どもは絵を見て選びますが、絵が変でもおもしろかったり、予想以上に子どもたちが喜んでくれる絵本がたくさんあります。

---

お子さんと一緒に楽しめるものがないのでしょうか？子どもも喜ぶ、お母さんお父さんも一緒に喜ぶ（楽しむ）ことで心が通うのではと思います。

---

今家庭で買われているものは、テレビのアニメキャラクターものも多いと思われます。それだけではなくもっとゆったりと見れる絵本を選んでいただきたいです。いい絵本がたくさんあることをもっと知っていただきたいです。

---

子どもと一緒に楽しめて、子どもの興味を持って好きになった本をたくさん読んであげたいと思います。カラフルなものであったり、昔話や最近のものなどいろいろなものもいいと思います。

---

テレビアニメの絵本だけでなく、その子の年齢に合った内容の濃いものを選ぶことも必要だと思います。絵の表情が豊かで、イメージがふくらみやすいものを選ぶと、子どもたちの創造力も高まると思います。

---

子どもたちの成長段階でその子に分かりやすい絵本を選んであげると良いのではないかと思います。

---

---

生活している中で興味、関心を持ったこと（季節、人物、行事）にふれた内容の絵本をその時に読むと子どもの感じ方もいろいろ違ってくると思います。

---

絵を見てイメージをふくらませたり、色彩感覚を身につけていくのでお話の世界に入っていくことができるような絵が描かれている絵本を選ぶといいかと思ひます。

---

季節に合ったものを選ぶことは大切だと思ひます。その子に今興味のあることを題材にしたものを選ぶとより楽しんで読めると思ひます。

---

自分が好きな絵本が読んであげることはもちろんですが、普段自分が選ばないようなジャンルの絵本も手にとってみてはいかかでしょうか？おとなが理解しにくい絵本でも子どもたちが大好きな絵本は意外に多いように思ひます。

---

絵を見て話の内容がわかり、絵本の世界に入りこめるものや、リズムが良いものは楽しいかと思ひます。でも、どんな本であっても親子で一緒に絵本を楽しんでいる時のぬくもりや声、その心地良さは子どもが大きくなってからも残るものだと思うので、好きとか楽しいと思う絵本をたくさん読んであげたらいいと思ひます。

---

お母さんやお父さんが子どもの頃好きだった絵本が良いと思ひます。（そういう絵本なら、面白さが子どもにより伝わるのではないかなと思うので。）

---

---

色の美しさを感じとることができる本、また、文章も長々した文よりも韻をふんだような余韻の残るものを心がけて選んでいます。本の上だけでなく、子どもの頭の中、心の中でいろいろとふくらんでくれたらいいなあと考えています。

---

子どもが好んで選ぶアニメ調の物は本人が見る分には良いと思うが、親の読み聞かせには向かないと思う。親の好みばかりを選ぶのではなく、さまざまなジャンルの絵本に挑戦してみると良いと思う。

---

マンガのような絵のものは絵本本来のあたたかい感じが伝わらないと思うので避けた方が良いと思われる。

---

本なので内容はもちろんですが、絵の色合い雰囲気なども選ぶときにみています。絵本ならではの「絵」の楽しみ方があると思います。年齢にあわせて読みますが、子どもに人気なのは同じ言葉の繰り返しだったり、話や絵の展開のおもしろいものが好きです。また手遊びのある絵本（例えば3匹のこぶた）は一緒に取り入れてみると一層楽しめてさらに普通の遊びの中でも　ごっこという形で見られました。何十年も受け継がれているものは今でも人気です。今はしかけのある絵本などもできているので、図書館や本屋で子どもと一緒に読みながら気に入ったもの

---

季節によっていろいろなお話があるので、その時期にあった絵本を選ぶようにしています。

---

---

絵本の中の絵を見るだけでお話がわかり、楽しくなる本を子どもたちは喜びます。新しい絵本が毎年出版されますが、何年も受け継がれてきている絵本を特に与えたいと思っています。

---

こういう本だけが良いのではなく、どんな絵本でも寄り添って読み聞かせてあげたら、お父さんは喜ぶと思いますが、「とこちゃんはどこ」のような探す楽しみのある絵本も、親子で読めればいいなあと思います。親子での読み聞かせに向いているなあと感じます。

---

子どもさんが繰り返し、大きくなっても楽しめる絵本をお選びください。

---

絵が子どもの好きなかわいらしいもので、またお話がわかりやすいもの。季節に関するもので虫や草花などが出てくるもの。

---

本当に幼児に合っているかどうか、絵がゴチャゴチャしていないもの、内容のわかりやすいものを選ぶようにしています。また、新しい本もいいけど、昔からある誰でも知っている昔話もたくさん読んであげたいです。

---

子どもたちは繰り返すお話が好きなので、お家でも同じパターンの本を読んであげて欲しいと思います。また、絵本を読んで友達関係や約束事を守れる、気づけるような本を読んで欲しいと思います。

---

---

童話は何回読み聞かせてもいいですね。古くから伝わる話なので、何回も読み聞かせてあげたい絵本です。伝えたい内容もギュッと詰まっていますし。

---

言葉にリズムがあり、韻をふんでいたり、同じ言葉を繰り返している絵本は子どもと一緒に声を出して楽しめてよいと思います。

---

言葉の繰り返しがある絵本は、絵本が苦手な子も親しみやすい。また、色使いなど視覚にうったえかける絵本は子どもの心に残りやすいし、興味を持ちやすい。

---

子どもが好きな本、おとなが与えたい本が違うこともありますが、推薦したい本をきちんと保護者に伝えて興味を持ってもらえるように啓蒙していくことが大切だと思います。

---

大好きなお家の方の声で、ひざの上であたたかさを感じて・・・心がホッと落ち着く家庭で、読んでもらえる絵本の時間は、子どもにとって、とても幸せな時間、心に残る時間になることだと思います。おもしろい絵本も、しっとりとした絵本も、子どもは感性を働かせ、じっくり楽しんでいます。お家の方もお子様と一緒に絵本の時間を楽しみ、素敵な親子の時間になればと思います。

---

## 家庭での絵本選びについて

---

### 年長クラス

---

親子で触れ合いながら楽しめる絵本選びがいいと思います。

---

絵本を通して子どもたちに伝えたいことがある内容のものを選ぶようにしています。

---

テレビキャラクターの絵本ではなく、昔から語り継がれているものや、話がはっきりしているもの。お子さんの成長に合わせたもの。起承転結がはっきりしているもの。色彩豊かで絵が美しいもの。

---

親子でコミュニケーションが取れるように、子どもが興味を持った本はもちろん、お母さんが読み聞かせたいと思った本を選ぶのがよいのではないのでしょうか。

---

最近の保護者は子育てについて意識が強く、家庭でもよく絵本を買ったり借りたりして読み聞かせをしてくださっています。その影響で、子どもたちも絵本が好きで難しい本でも集中してよく聞いている子が多いです。とても感謝しています。まず、子どもが絵本を好きになるには、よく読んでくれる人がそばにいることが大切。加えて年齢にあわせた絵本を無理に選択するのではなく、子どもが気に入っている絵本を優先に読んであげることがいいのではと思います。絵本が好きになった子は、園でもよく絵本を借りて読むし、集中力も身につけているのでよく聞いて

---

---

子「これかりー」親「う～ん。また借りるの？これ前にもみたけど他のは？」

このような会話を図書館で目にしました。子どもは大好きな絵本は何度でも見たいものだと思います。ですから「前も借りた」「前もみた」と言わずに、何度でも子どもとその絵本の世界を楽しんでほしいと思います。はじめて見た時と10回見た時の子どもの反応も違うと思いますし、それだけ絵をよく見て(読んで)いるのだと思います。(保護者の方の読み聞かせの声で物語を補いながら)

最近新しく出版される本も多く店頭に並んでいます。とても絵がかawaiiものがあります。新しい作品を批判するわけでは決してありませんが、古くに出版されて色彩が華やかでなくても良い作品はたくさんあると思います。遠い昔に出版されても読み継がれてきた作品は子どもたちに愛され続けてきた作品(証拠)だと思うので“絵がかawaiiから”という理由だけで選ばずに読み継がれている作品もぜひ読み聞かせをしていただきたいと思います。

---

読み聞かせの本は楽しい本だけでなく、悲しいストーリーのものや、親子で考えられるもの、童話や民話なども選んで、ふれあいの時間として大切にしてほしいと思います。

---

図書館などを利用して実際に本を手に取り、内容を見て選んでいます。結末が腑に落ちないものが多くあり難しい。

---

絵がはっきりしていて分かりやすいものがかawaiiと思います。

---

親自身が楽しめる絵本がたくさんあるので絵・文章の面白さなどみつけてその中から一緒に楽しめる絵本に出会ってほしいです。言葉の繰り返しなど喜びます。

---

---

親子で一緒に楽しみ、共感できるものがないと思います。

---

絵からイメージが浮かぶ絵本を選んでいきます。また、この本が伝えたいメッセージが子どもたちにも感じとれる内容の絵本選びを心がけています。楽しい場面、悲しい場面と子どもたちの心を動かせる読み聞かせ、絵本選びを意識しています。

---

物語や内容を通して、子どもたちに考える力が育つものや、イメージを膨らませる力が育つものを選んでいきます。また、子どもたち一人ひとりが絵本を読んだり、見ることでいろいろなことを感じてほしいと願っています。

---

子どもたちが見やすいイラストやいろいろな色が使われているなど興味をもてるもの、内容は、分かりやすいもののほうが子どもたちの反応もよいのでよく読んでいます。絵本を通して、子どもたちがさまざまな気持ちを感じられるようにたくさんの本を読むように心がけています。

---

イメージを膨らませながら夢を持ったり楽しめるもの。内容を深く理解し、考えられるもの、心に伝わる本などを選ぶようにしています。読み終えた後、心が温くなるもの、日常生活に置き換えて考えられるもの、現在、興味をもっているであろう内容のもの、この先、興味を抱いてほしいと願う内容なども意識しています。

---

どんな絵本を選んだらいいのか分からないというお家の方がいましたら「東京子ども図書館」から発行されている私たちの選んだ子どもの本」という本が売っています。この本には東京子ども図書館のメンバーの方が選ばれた子どもの本の推薦リストが載っていて、長い間子どもに読み継がれてきた絵本も多く紹介されています。内容や作品の面白さが書かれているので参考になるとと思います。それと私の個人的な意見としては、お父様お母様が昔好きだった絵本、心に残っているお話をまず読んであげる（語り継いでいく）ということもいいのではないかと思います

---

---

読み継がれている絵本には、子どもの心をひきつけるものがあるんだと、お子さんたちが手に取る本をみていて思います。大好きな本は何回でも手に取るお子さんたち。繰り返し楽しむこともいいなと思います。

---

何を読んであげればよいか分からないときには、まずお父さん、お母さんが読みたい、読んであげたい本を読んであげるのがいいと思います。しつけのためにと絵本を選ぶのではなく、いろいろな話をお父さんお母さんの声で読んでほしいと思います。また、一度読んだから終わりではなく、お子さんにとって大好きになった絵本は何度でも読んであげてほしいと思います。

---

年齢にあった絵本を選んであげたいと思います。

---

言葉の意味も理解できてくる年齢なので、内容に伝えたいメッセージ性のあるものや、ストーリーも主人公に自分を重ねていけるようなものも好きです。

絵本の中に隠れているイラストを見つけたり絵描きさんの意図した遊び心を楽しめる絵本もおすすめです。

繰り返しのある内容もの。

---

まずは、自分の好みの絵本を選びますが、園での子どもたちの様子を見て、ともだち関係のものを読んだり選んだりということを心がけています。

---

親も楽しめて、一緒に考えることができる絵本がいいと思います。また、興味や関心の窓口になるので、たくさんふれる時間も作ってほしいと思います。集中力を高めるためにも、年長時期は、長めのものでもよいと思います。

---

---

発達に応じた絵本選びが必要だと思います。色のたくさんついた絵が多く描かれているもの、だんだんと文字の読みやすいものにしていくなど。読み手も楽しめるものの方が、聞き手も楽しいと思います。アニメ調、実写、写真など、いろいろな絵に触れる機会があるといいかもしれません。ストーリー性があるものにも少しずつなれるようにしたほうが良いのでは？まずは親しむことから！

---

おとなが読んでも楽しいと感じられるものが良いと思います。“ちょっとまだ早いかな？”と思うくらいのレベルの絵を読んだほうが喜んでいました。

---

絵や絵のタッチに惹かれて読む絵本も楽しいですが、昔話などの絵本を読み、子どもたちに伝えていくことも大切だと思います。あと、5、6歳になると字が読めて自分で絵本も開くと思いますが、親子で一緒に楽しむ時間も大切にしてほしいです。

---

子どもが選ぶものだけでなく、お家の方が内容をよく読んで、子どもたちに読み聞かせたいものを選ぶと良いと思います。

---

小さいうち(3～4歳)は、子どもに絵本を選ばせるというより、お母さんが見てお母さんが好きな絵本を選んで買ってあげるのが良いと思います。だんだんと大きくなってくると(5～6歳)園で読んでもらったものでおもしろかったのが欲しいといってくる場合があります。大好きで何度も借りてくるときは買ってあげて欲しい。

---

はっきりした絵やきれいな絵など、見ているだけでもワクワクしそうな絵本を読んでほしいと思う。

---

---

子どもと親と一緒に楽しめる絵本がいいと思う。

---

キャラクターものばかりではなく、昔から親しまれているものや、言葉の美しいもの、絵の美しく細やかなもの、ストーリー性のあるものなどを選んで欲しい

---

5歳児は文字に興味をもつ時期なので、親が寄り添って字の読み方を学んで行けるようなストーリー性のある絵本を選んでもらいたい。

---

年齢が小さい頃は読み聞かせてあげ、大きくなったら自分でも読むことができるような絵本を選んでいきます。目で見ても楽しむことができる絵本（色使い、大胆な絵など）言葉がくり返されて、楽しい本（大きなかぶなど）昔ばなしのようなものは物語が簡略化されていないもの。子どもの想像力がふくらむような絵本。

---

色彩が豊かな物は、子どもの興味をひく。音が出たり、飛び出す仕掛けがある物も人気があり、何度も読みたくなると思う。虫や草花など読んだ後も、観察したり、発見を楽しんだりできるものは良いと思う。

---

書店にはたくさんの絵本が並んでいますが、買う時にはまずじっくりと読んで、その本の良いところを見つけて欲しいです。そして、似た種類の絵本ばかりを買うことなく、内容、絵のタッチなど幅広い種類の絵本をたくさん読んで欲しいと思います。

---

---

色彩の鮮やかなものを子どもたちは、喜んでいるように思われる。しかし、その子その子に好き嫌いがあり、そうとは限らない。保護者が読んであげたいと思う本を選ぶことはもちろん良いことであると思うが、子どもと一緒に本を選んでみても、その子の特性が分かるのではないかと思う。

---

子どもが興味を示した絵本を繰り返し読んでいくうちに、いろいろな絵本にも目を向けて視野を広げて行ってほしいです。

---

子どもが読みたい絵本と、親が読んでほしい絵本の両方を選ぶと良いと思う。同じような絵本に偏らず、優しいもの、迫力のあるもの、色彩のあるもの、白黒の絵のものなど、さまざまな絵や内容に触れられるように選んだら良いと思う。

---

絵本の本物の絵の良さが感じられる絵本が良いと思います。昔からの絵本は、良いと思います。お母さんも読んだことがあると思います。

---

子どもが興味を持つ内容と、お家の方が読み聞かせたいものとのギャップが大きいと思います。子どもと一緒に本屋さんや図書館で選ぶことから始めて、親子一緒に楽しんでいけば興味の幅も広がっていくように思います。

---

温かみのある絵、言葉がどうかよく見えます。思わずフッフと笑ってしまったり、想像がふくらむお話がいいなと思います。

---

---

ずっと読み継がれているものはもちろん、新しい本も続々と出ています。アンテナを高くしているいろいろな本に触れていただきたいです。

---

人気のある本は、すぐに欲しくなってしまう私（この本おもしろい！！子どもたちに読んだら喜んだよ！！という本も・・・）絵本アンケートの結果、気になります。自分で探すのも好きですが、周りから聞いてその本を買うということも多いです。

---

子どもは絵本の絵を読んでいるといってもよいと思うので絵が楽しいものであったり、色がきれいな絵本がよいと思います。

---

子どもは色がきれいだったり、絵が魅力的だったりすると集中して見ます。そういったもので、さらに内容が面白いものや伝えたいことがあるものだとよいのではないのでしょうか。また、繰り返しのお話は子どもとたちは楽しんで見ることができます。

---

子どもの夢が広がるような楽しい絵本。昔話や童話も捨てがたいので、読み聞かせてあげる必要がある。

---

幼稚園で絵本を読み聞かせる時には、先生一人に対して子ども何十人が一冊の本を見えています。以前研修で絵本は、1対1で読み聞かせることが大切という話を聞きました。家族では、自然とできるのでたくさん読み聞かせてあげられたらいいと思います。「家で見た」「お母さんに読んでもらった」と言う子がよくいます。お母さんに読んでもらう本は、印象強く、特別なんだなと思いました。

---

---

お子さんの年齢や関心・興味のあるもの。その子にとって心地良いと感じるものを選んでいけばどうでしょうか？

---

絵本を選ぶ時、絵を見てもお話がわかるものを選ぶと良いと思います。子どもは、絵を見ただけでお話をイメージしたり、絵を見ただけでお話の世界に入ったりもするので絵だけを見てもお話がわかるものを選ぶことが大切だと思います。

---

繰り返しの言葉がたくさん使われている絵本は、子どもたちも覚えやすいので何度も読んでほしいとリクエストもよくあがります。自分が絵本を選ぶ時には繰り返しの言葉がよく使われるものや色のきれいなもの、擬音が使われているものなどを選ぶようにしています。その他にその季節にあったものを読むことで、自然に興味を持つきっかけとなれば良いと感じ選ぶ時もあります。

---

昔話・再話。長い間読みつがれている絵本。さまざまなジャンルのものや、絵の雰囲気異なるもの。知識が増えるものや、心を成長させるようなもの。

---

会話が增えるような絵本。日本に伝わる伝統的な昔話。家族がテーマの絵本。想像力がつく絵本。

---

子どもの好きな絵本、お母さんの好きな絵本が1番だと思います。また“バムとケロシリーズ”“ホネホネさんシリーズ”など、細かい絵がいっぱいのものもお勧めです。何回も見ていくうちにいろいろな発見があり楽しいので。

---

---

話の内容だけでなく、目で見て楽しめるものであったり、子どもたちと一緒に読みながら、考えられるような絵本を選んでいきます。年長になると、単純なものばかりでは飽きてしまうので、子どもたちから思わず言葉が出てしまうようなストーリーがおもしろいです。

---

子どもたちに絵本を読むと、話にひきつけられる絵や読み方もあることを感じます。色使いやしかけを考えるもの大好きです。

---

ものがたり・科学・のりもの・虫などいろいろなジャンルの本を選んで読んであげてほしい。マンガのような絵本のものではなく、色彩がきれいなもの、リアルなものなど、絵本の絵の魅力も知ってほしい。子どもが好きな絵本は何度でも。

---

キャラクターものではなく、年齢に合ったもの、絵が美しいもの、細かい部分も表現されているものを選んでほしいと思う。（家では1つの本をゆっくり、じっくり見ることができると思うので）

---

子どもが読むのではなく、読み聞かせる前提で選んでほしい（子どもに字が読めるからと言って読ませるのではなく）

---

絵を見ただけで話の内容が想像できるもの。絵がかわいいなど見た目だけで選ばず話の内容を読んでみて選ぶ。

---

---

園で読む絵本（月ごと）以外に希望者に本の紹介をしています。購入する人が年々減っています。ゲーム、DVDの時代に押されているように思います。

---

子どもの年齢に合ったものが大切だと思う。お話の内容も大切だと思うが、絵の雰囲気を選ぶことも絵本選びの基準になると思う。最近は絵もいろんなものがあり、仕掛けが付いているものや音が出るものもあるので、子どもが目で見ても楽しめるもの、触れて楽しめるものもいいと思う。3歳くらいでは、繰り返しの多い絵本、年齢が上がるにつれてストーリーの長さや内容にも注目していくといいと思う。

---

簡易的な絵本を買って与える家庭が多いように思う。また、結末を変えてお話を作り直している家庭もあるように思う。幼い頃より本物に触れる機会をたくさんもってもらいたいと思う。

---

短編、長編いろいろなものに興味を持てるように選んでいただけたらと思います。

---

読んでいて楽しいものや起承転結がしっかりしているものを選ぶ時もあります。

---

お子様が好きな本は繰り返し読んであげて欲しいです。おとなは飽きてしましますが、子どもは何度でも読んでもらってもうれしいものです。

---

---

さまざまなジャンルの本に目を向け、子どもが好きな本もちろん、時には親が好きな本も、取り入れていったら楽しいのではないのでしょうか。

---

子どもたちは「これからどうなるんだろう・・・」とワクワクドキドキする展開の話が大好きなので、文章が少なくても子どもたちが興味を持てるような絵本を選んであげたらいいともいます。けれども子どもたちは基本的にどんな絵本でも大好きなので、1日1冊じっくりと子どもと向かい合って読む時間が1番大切なのではないかな、と感じます。

---

話が長すぎず、何度も繰り返し読めるものがいいと思います。また、会話文の中で、繰り返しのあるものは、子どもたちも喜んで、一緒に言ってくれたりします。

---

年長児にはストーリー性のある物語を選び、主人公の気持ちなど子どもと一緒に考えてみてください。日本昔話やイソップ物語には子どもたちは大好きで、良いお話が多いのでたくさん読んであげてください。

---

子どもたちと一緒に話したり読み合える時間を大切にさせていただくと、どんな本であっても子どもたちは喜び繰り返し読んでくれると思います。子どもたちの声に耳をすまし、大切な時間を過ごしていただきたいと思います。

---

キャラクターのもの（アニメもの）は控えていただきたいと思います。

---

---

色彩がきれいなものや、自分が読みたいもの。

---

絵本の時間というのは、親と子どもがゆっくり向かい合える時間だと思うので、夢のあるもの、お話に入りこめるようなものは子どもたちも喜ぶので、そういう選び方も一つだと思います。

---

おとながおもしろいと思う（読む人がおもしろいと思う）本であれば、子どももおもしろいと思います。私は自分が好きな本を選びます。

---

色彩の優しい絵や色が鮮やかな絵の絵本を選んでいただきたいなと思います。

---

絵本は感情を豊かにし、想像性も養い、人がこれから大きくなっていくための基礎の一部であるかも知れないくらい、大事なものだと思いますので、絵本の内容、絵などをよく吟味して選んで欲しいです。

---

年齢や子どもたちの発達段階に応じて長さや内容を考え、まず、保護者の方が一度読まれてみて、「おもしろい」などと感じられる絵本を選ばれると良いと思います。

---

## 家庭での絵本選びについて

---

### その他

---

同じようなものに偏らず、いろいろな絵本を読んであげることが大切なのではと思います。また、日本昔話や童話など、一般的に有名なものを入れていただけたらと思っています。

(フリー)

---

絵本が大好きな子どもたち。内容は単純だが楽しいものであれば「もう一回読んで」と読んでコールがあがってくる。ほとんど絵のない本でも、内容に魅力を感じると、続きを楽しみにするほどのめりこんでくる。ドキドキワクワクした子どもたちの目と心ときめきを見ているとたくさんの絵本に出会わせてあげたいと思う。そして、いろんなジャンルの絵本を通して濃い頃豊かな子に育って欲しいと願わずにはいられない。

(フリー)

---

子ども自身が手にとって楽しめるものや今、子どもが興味のあるものを重視して選ばれると良いのではないのでしょうか。また、そんなにたくさん選ぶのではなく、1冊の本を繰り返し読み親子で深めていけると良いと思います。

(年少・年中・年長)

---

書店の絵本コーナーでしばしば母子のひと悶着を目にする。母親が与えたい絵本と、子どもの選んだ絵本に違いがあり、その理由が「園でみて、園にある本なら、別な本にすればいいのに」のケースが多い。ついで字数の少ない絵本やナンセンスなものの絵本が軽視されるが故に原因となっている場合だ。また、たくさんの絵本を前に5分とかけず「早く選びなさい」もある。確かに絵本1冊の値段も上製本となると安くて800円、大概是1,000円を超えているから、おいそれとは購入できないだろうが、だからこそ、子どもが目をとめお気に入りとなる1冊であって欲しいと願う。市内の図書館も絵本に限って言えば決して豊かな蔵書とはいえない現状と感じているが、時間にゆとりを持って子どもが選べる場として活用して欲しいとも思う。

(年少・年中・年長)

---

1～2歳児は、絵がはっきりしていて、繰り返しのある絵本を喜ぶと思う。何度も読んでいくうちに子どもも覚えて繰り返しの言葉を一緒に言いながら見るようになるのがおもしろい。家庭でも絵本を選ぶときは、保護者が書店で手に取り気に入ったものでもいいし、インターネットなどの「おすすめ絵本」などでもいろいろと紹介されており参考になる。

(1～2歳児)

---

---

小さい年齢だったら、リズムカルな言葉（特に昔話に多い）それが絵本への入り口になるのではないかと思う。年齢が高くなるにつれては、しっかりとした筋があり、お話の中に引き込まれていく本。絵と文章の調和が取れている本。そういう本は、お話にあわせて本当に本の中のものが動いているように感じます。あとは、お母さん自身が共感を持ち、好きな絵本。義務で読んでも感動は伝わりません。

（未満児）

---

子どもたちと一緒に楽しく読める本を特に心がけて選ぶ。また、年齢にあったわかりやすい絵本を読んであげている。

（未満児）

---

保護者の方（読み手）の好きな絵本を選ぶことは大切です。共有する時間が大事だからです。最初はロングセラーのものを選ぶのも一つの方法。読み継がれているには必ず理由があると思われるからです。キャラクターの絵本に子どもは目が行きがちですが、テレビアニメとは別に考えたほうが好ましいと思います。

（無記入）

---

私の経験から、本屋さんに行って子どもに本を選ばせたいので、図書館で事前に好きな本、読みたい本を決めて、買いに行くようにしました。近くのと予感を利用するのがいいと思います。

（無記入）

---

目で見て楽しめるもの、挿絵の色合い。文体の楽しさを考えながら買うときは選んでいます。

（無記入）

---

自分が読んで“おもしろい！”とか“かわいい”“きかせたい”と思ったものを選ぶと、子どもにもわかりやすく、子どもも楽しめると思います。

（フリー）

---

---

まだ子どもはおりませんが、たくさんの絵や色、お話に触れて欲しいなと思います。自分自身が小さい頃に読んでもらった昔話はやっぱり読んであげたいなと思います。  
(無記入)

---

「どんなお話かな？」ワクワクドキドキする気持ちを子どもたちに伝えることが大切だと思います。読んだ後に感じたことをきれいな言葉で、親子で会話できると良いですね。  
(無記入)

---

子どもが喜ぶからといってキャラクター本や乗り物の本ばかり見せるのではなく、良い本を母親が読み聞かせることが大事。小さな子どもほど単純な言葉の繰り返しを楽しむと思います。絵本の中から豊かなイメージが広がっていける本をたくさん読み聞かせてください。子どもにとって母親から父親から自分のためだけに本を読んでもらった経験は良い思い出になると思う。  
(預かり保育)

---

年齢に合ったものを楽しめる配慮はもちろんのこと、新しい絵本がたくさん出ている中でも、昔から読まれているもの(例えばぐりとぐらシリーズ等)もやはり読み聞かせていきたいものである。長く人気が続く理由が、その絵本の中に必ずあると考えている。図書館等の施設も大いに使いながら、たくさんのお話の楽しさを知らせていけたらと思っている。  
(3歳・5歳混合)

---

子どもたちは絵本が大好きなので、伝えたい思いに添ったもの、お子さんと一緒に楽しめるものなど、選ぶのはどんな物でも大丈夫だと思います。それよりも、お膝の上に乗せたりして、保護者の方の“声”で語り掛け、一緒に読むことが一番大切だと思います。  
(3～5歳児)

---